

例会日：毎週木曜日 18時30分 例会場：関観光ホテル 住所：岐阜県関市池尻 91-2
 事務局：岐阜県関市下有知 1655-1 山田ビル 1階D室 TEL(0575)24-7332 FAX(0575)23-5278
 会長 川村紳一 副会長 西田健一 幹事 石原妙生 クラブ会報委員長 大藪太

2020～2021 年度 関中央ロータリークラブ会長テーマ

「一人ひとりが輝く」

～会員同士の絆を大切に～



ロータリーは機会の扉を開く

4つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

本日のプログラム 新型コロナウイルス感染症対応原稿例会
 第 2028 回例会 2020 年 12 月 24 日 (木)
 テーマ 「年末のご挨拶」 / 担当 会長・副会長・幹事

***会長あいさつ 川村 紳一会長**

12月半ばに入りめっきり寒くなりました。会員の皆様は如何お過ごしでしょうか。コロナウイルス感染拡大に伴い、4月～5月の第1波、7月～8月の第2波、11月～12月の第3波と、コロナウイルス感染関連で1年間が過ぎようとしています。この間、国民生活や経済に甚大な影響が出ています。また、Go To トラベル、イートによって人の流れが活発になり、コロナウイルス感染拡大が広がりました。一日で3,000名以上の感染者が出て医療崩壊が懸念される所です。私たちも年始・年末に当たり、感染拡大を防ぐため、自粛を心掛けなければならないと思っています。

このような状況の中、上半期を振り返って私なりに感想をまとめてみました。7月から会長として上半期を終えようとした12月3日に年次総会を無事開催させて頂きました。第44期の始まりに当たり、私は関中央ロータリークラブのテーマを「一人ひとりが輝く」～会員同士の絆を大切に～とさせて頂きました。会員同士の繋がりを大切に職業奉仕を中心に例会を充実すること。対外的にも奉仕活動を推し進めて、地域社会との繋がりを図り、地域社会に貢献する。仲間との友情を育むことができるこの二

つの活動を実施できたか顧みしました。しかし、例年ならば何の問題にもならない活動がコロナ禍での例会場の変更で、三密にならないか、食事をするべきか日々検討して行かなければなりません。また奉仕活動についても、デイキャンプ、森林整備、長良川清掃活動等々について、コロナウイルス感染に気を付けながら、多くの会員が参加しての開催が出来ました。それらの活動を新聞に掲載して市民にアピールする機会を持てたことはよかったですと思います。会員自ら役割分担をして、行事が運営できたことに一層会員同士の絆が強まったと思います。曲がりなりにもこれまで例会が開催出来たことは幸いです。残り10日あまりで新しい年が始まります。この状況がいつまで続くのかわかりませんが、1月時点での状況を鑑みて、理事役員会の皆さんとクラブとして、何が出来るかを検討して実行して行けたら良いと思います。そして一刻も早く通常通りにロータリークラブの例会が出来ることを願うばかりです。最後になりましたが、新年を迎えるにあたり、会員の皆さんには良い年でありますように願っています。

***副会長あいさつ 西田 健一副会長**

街路樹の黄金色の葉を咲き誇っていたイチョウの木も12月に入り散ってしまっていて、寒々とした感じが

する今日この頃であります。今回は、このイチョウについてお話をさせていただきます。

イチョウは「生きた化石」と呼ばれるほど古い歴史を持つ植物で1億5000年前の恐竜時代から世界各地で繁栄していました。現在でも、世界中で中生代(特にジュラ紀)以前の地層から、数多くのイチョウの葉の化石が発見されています。銀杏と書いてイチョウ、またはギンナンと読まれています。どちらも中国語からの読み方で、イチョウは葉の型がアヒルの足「鴨足」の形に似ていることから「アーチャオ」「イーチャオ」と呼ばれ、それが変化してイチョウになったそうです。またギンナンは実の方を指し「杏(あんず)に似ている銀白色の実」ということから銀杏(ギンナン)と呼ばれるようになりました。

この季節のイチョウの木の下にはオレンジ色をした独特の臭いを放つ実が落ちていることがあります。これがイチョウの実で、私達が食用にしているギンナンは、この実の中に固い殻に包まれた胚乳種の部分になります。イチョウには「雄」「雌」があり、実をつけるのは雌で、実らないのが雄です。なので、どちらか一方の木だけを植えても、実はなりません。イチョウの実のかなり独特な臭いは、一説には「わが身を守るため」にあるとされています。木から落ちた実は動物に狙われやすく、確実に子孫を残すため、動物の食用になってしまわないようにあの匂いが必要とされたようです。現代まで、延々と生き延びてきた理由は、臭いにあるかもしれません。

さて、食用とされるギンナンですが、カロテンやビタミンC、カリウムやマグネシウム等、多くの栄養素が含まれています。また、薬用としての歴史もあり、漢方薬として、咳止め、喘息の治療、夜尿症の改善などにも効果があるとされています。古い神社やお寺などで大きなイチョウの木が植えられているのをよく見かけますが、昔からこれらの効果を持つギンナンは、民間薬として利用されていたようです。非常に美味しく栄養価の高いギンナンですが、実は、中毒性があります。ギンナンに含まれる「MPN」という物質があり、大量に摂取するとビタミンB6欠乏症に似た症状を起こすことがあります。症状としては、痙攣、嘔吐、呼吸困難等です。個人差はありますが、大人で40個、小人で10個以上が危険とされています。特に子供さんの場合、解毒作用が弱

いので注意が必要です。

大人向けの少々の苦みがあり、それが美味で季節感が強く、料理に少量入っているだけで秋を感じさせてくれるギンナン。ついつい食べ過ぎてしまいそうですが、食べる量には気を付けて味覚を楽しみたいものです。

*幹事あいさつ 石原 妙生幹事

今年度は新型コロナの影響により、年度が始まる前から「バタバタ」させられ、地に足が着かないような状況でした。

例会場の関観光ホテルは休業され、総会・例会を行う会場もなくなってしまいました。役員会でいろいろ会場を模索し、総会より約一か月は「味のまごろく」さんにご無理を言い、その後は「神楽」さんでお世話になり、何とか例会を開催してきました。コロナの感染が心配される中でも、何とか密を避ける等工夫をして、例会や行事を開催させて頂きましたが、それは強制ではなくあくまでも会員一人一人の考えで出席を判断して頂くよう案内をさせて頂きました。

11月8日には懸案であった、事務局の事務所も無事改修工事も終わり、山田ビルに引っ越しすることが出来ました。これまで慌ただしい段取りで進めてきて、ようやく11月の中旬より安定した活動が出来ると思いきや、コロナの第三波により、また予定を変えざるを得ない状況になってしまい予定の活動を一部中止させて頂きました。

この様なコロナ禍でも今年度の例会・行事の出席率は例年と同じくらいであり、我がクラブの会員のロータリーへの意識の高さを感じました。また、例会後の片づけや、事務所の引越し等の協力に対し、内のクラブは『本当に良いクラブ』だと思い感謝しております。後期もコロナの影響がある中でのクラブ運営になると思いますが、形に残る活動をしていきたいと考えていますので、会員皆様のご理解・ご協力をお願いします。

<次例会の案内>

新型コロナウイルス感染症対応原稿例会

第2029回2021年1月14日(木)

テーマ「会長新年のご挨拶」

「金婚式・銀婚式を迎えて」

担当 会長・幹事